

平成 29 年度 第 2 回八幡地域協議会 要録

日 時：平成 29 年 9 月 19 日（金） 19：30～21：45

場 所：郡上市役所 4 階大会議室

出席者：【八幡地域協議会委員】

福手保成、先山祥一、石山加代子、兼山勝治、水野良一、尾田孝夫、山下優子、河合研
和田肇、加藤徳光、坪井繁智、西村叡、本田教治、青木巖、池戸郁夫、日置次郎

【オブザーバー】渡辺友三、武藤忠樹、上田謙市、山田忠平、田代はつ江

【事務局】丸山八幡振興統括、河合企画課長、大野企画課地域振興長、

和田（隆）交通対策担当係長、和田（幸）地域振興係長、酒井

欠席者：【八幡地域協議会委員】石神啓次、武藤政則、羽田野哲夫、武藤理恵

あいさつ

尾 田： 先般の台風では大きな災害がなく良かった半面、最近の災害は思いもよらない形で襲ってくるので気を引き締めなければならない。

交付金を各地区に支払い、地区ごとに願いのある取り組みを実施していただいている。

後半で各地区の取り組みを報告していただく。

今回の協議会では、八幡地域における公共交通について協議をしていただく。郡上市地域公共交通網形成計画を作るため、これまでの地域公共交通総合連携計画の取り組みを聞きながら、望ましいありようについて、委員の忌憚のない意見を伺いたい。八幡公共交通を持続させる素案づくりの会にしたい。公共交通は地元住民の交通手段である一方で、観光によるまちづくりの手段でもある。色々な思いを出してほしい。月末に予定されている公共交通の懇談会にも参加いただきながら、ネットワークづくりができればいい。

丸 山： 先日より台風 18 号の警戒のため終日市役所で対応していた。市全体では 41 名が対応した。雨は多くなかったが、風が強く、1 時 2 時あたりは立っていられないほどだった。大きな被害はなかったが、八幡では那比、小那比、口明方等で倒木があった。一部地域では停電があったが、中部電力により解消した。道路は翌日の 3 時くらいまでに通行止め解除となった。他の地域も似たような状況で、倒木が各地区 10 本程度やびにーるはうすの被害が報告された。調査が進めば被害が拡大するかもしれないが、大きな被害はなかった。平成 16 年の 23 号台風は 10 月 20 日過ぎに来ているので、気を緩めることなく対応したい。

夏の行事が一段落した。郡上踊については昨年比で少し少ない 30 万弱の入込があり、大きな事故なく終えることができた。

議会については 9 月 8 日から 10 月 2 日まで 9 月の定例会を開催している。きょうから一般質問が始まったのでケーブルテレビをぜひ視聴していただきたい。

本日の会議では、公共交通について集中的な意見交換や提案をいただくことになる。その後、まとめの会を踏まえて地域の意見をまとめることになる。

1. 公共交通検討会

事務局より説明

意見概要

- ・バスと長鉄の乗り継ぎ改善

- ・年齢・地域・季節などのニーズの把握による増便

事務局

バス事業者と調整しダイヤを改正。ただし高校生に合せば一般の方が乗れなくなる場合もある。
無駄を省くため、美並や和良でデマンド交通による予約運行が要望されている。

ただしデマンド交通もメリット、デメリットがある。

メリットは空のバスの運行が減ること。

デメリットは必ず行き帰りの予約、観光客へのサービスは低下が考えられる。

- ・公共交通空白地の解消
- ・バスルート沿いの企業からの協賛金
- ・まめバスのルート改定
- ・渋滞緩和、日常交通、観光交通の課題の整理が必要
- ・まめバスの導入は、大型バスによる街中での渋滞抑制が発端。実証実験を経てバスを導入。
- ・今は観光客の増大による課題が加わった。
- ・野々倉や小那比、那比などにまめバスを周回させるのは無理。民間業者の対応が必要。
- ・明宝の福祉運送を八幡にも。

事務局

明宝で福祉有償運送を行っているのは「NPO 法人ふる里めいほう」。

会員制で利用者を登録し、利用者から要望で自宅へ来てもらえる。利用料金は距離に応じて徴収。

その他にはぶなの木が福祉有償運送を実施。公共交通補完するものとして有効な手段。

- ・西和良では和良方面に行かれる方は少なく、高齢者の方は通院や買い物で八幡へ行くことを希望。
- ・高校生はクラブの関係でバスに間に合わないため、親の車で登校し、帰りに路線バスを利用する。
- ・西和良では通学、通勤、福祉、市役所等へ行けるような総合的なバスにしてほしい。
- ・他の路線にも乗れる共通券や、市役所がバスターミナル的なものであれば乗り換えが容易である。
- ・観光客、一般、学生をどうするか、3つのことを一括り考えるのが難しい。
- ・周辺部の高齢者の足の確保ができないので、免許証をなかなか返納したくない。
- ・フリー乗降の検討を。

事務局

郡上市の自主運行バスの中には条件によるが、フリー乗降を設けている路線がある。

安久田については民間路線バスであり、フリー乗降について法的な確認が必要

美並の自主バスの西乙原周回。

- ・相生経由、西乙原経由等、コースを工夫。
- ・公共交通に関する経費の推移は。

事務局

自主運行バスについては、3年契約により大きく増加はしていないが更新時に増額の可能性あり。

民間事業者の安全管理経費の増加により、事業者に対する市の補てんも増加する。

- ・インターへの路線で実証実験の実績は。

事務局

夏場の踊りシーズンは、1日10人程度。

- ・亀尾島は公共交通が無い。本当に公共交通を何とかしていただきたい。

事務局

交通空白地として亀尾島については、今回の計画でも何とかしなければならないと考えている。

- ・自主運行バスと路線バスが分けてあるが、路線バスをやらなければならないのか。

事務局

路線バスには高校生が乗っており、毎日運行が必要。便数は事業者が決めている。

自主運行バスの毎日運行の必要性は、利用者の状況により判断する必要がある。

スクールバスと自主バスの運行については検討が必要。

小駄良線、相生線はスクールバスと併用。明宝の気良線、小川線、寒水線の自主運行バスに子どもが乗って通学している。利用の実態について踏まえながら便数の調整をする必要がある。

- ・人口減少が課題だが、利用者が少ないということを計画策定の中で考えてほしい。
- ・西和良から和良の学校への通学は5人。スクールバスでなくても普通車でもできる。市民のニーズを考えてもらわなければならないが、市民の負担が増える。住民の協力も必要。
- ・観光客は元気なので、元気でない人のことを考えてほしい。
- ・高速バスは早朝と夜遅い便がない。
- ・町内の商店のためにもバスが運行しているのであれば、企業努力として利用券を出してもよいのではないかと。郡上市の財政を助けるためにもメリットを受ける商店が考えることも必要。
- ・まめバスの見直しを考えると、都会のように短時間で回れるコアな環状線と、それに乗り換えができるような西乙原や川合からのルートが乗り入れるなど、編成を考えた方がいい。まめバスは赤と青が重複しているように見える。
- ・明宝線は利用者が少ない。孫が高校通う時にはお母さんが送っていた。昼は利用者が少ないのでもっとPRを行ってみんなが乗るようにするとよい。
- ・地域によって問題が違うので、総合的に判断する必要がある。
- ・自分が車で移動するのでバスを使っていないが、免許を返納した方の優遇は何かあるのか。

事務局

すべての公共交通の運賃が2年間半額になる。

- ・2年間よりも伸ばしてもらって、利用者を増やすことを考えた方がよい
- ・デマンド方式は良いと思うが、基本は決められた路線と停留所が基本。デマンドよりも空白地を減らすことに力を入れるべき。
- ・まめバスのコースについて、遠回りになることがある。簡略化してもよいのでは。
- ・市街地の人是一周する必要が無い。観光客もほとんど乗っていない。毎日同じ人が乗車。車両が小さいので、観光客が乗ると住民が乗れなくなる。観光客は考えなくてもよいのではないかと。
- ・自分の地域はバスも長良川鉄道も走っているので、特に要望は無い。東京都では以前のバス路線から地域の住民の意見を聞いて、運行経路を変えたら売り上げが上昇した。現在郡上八幡の住民の要望は本当に吸い上げられているのか。経営者であるならばお客様の意見を聞くはず。市役所は地域住民の要望をどのように吸い上げているのか。路線バスについても同様。

オブザーバー①

- ・利用者が少なくても、無くするわけにはいかない。まめバスのコースを工夫することによって外に周れるのではないかと。
- ・公共交通の問題もいつまでも課題がでるのではなく、今回解決に向かってほしい。

オブザーバー②

- ・テレビで福祉バスのCMを盛んにやっているが、ああいったことができないかと思っている。病院へ通うということを今後どうしていくのかということは、大きな問題となってくる。

- ・路線バスを走らせて公共交通ということもあるが、福祉が必要な弱者の方をフォローしていくことが、交通体系の問題になっていくと思う。

オブザーバー③

- ・交通網形成計画を策定するにあたり、市内の 2,000 人を対象にしたアンケート調査の結果を見せてもらったが、回答者の内で 8 割の人が自分で車を運転しているので公共交通には乗らない、その次は誰かに乗せてもらう、そして徒歩か自転車というふう元気な人だと思う。公共交通の通学や通勤等に利用しなければならない人が 1 割で、本当に困る人は僅かな人であるが、そういった人たちに光を当てていかないことには、安心安全な郡上市であるかということとは言えないので、これは福祉の面から解決する問題である。
- ・乗って残そうといことはあるが、ここに集まった皆さんは何年か先に公共交通を利用すると思ってみえるかもしれないが、今この時点で公共交通がなくなってしまうと数年後には利用できないことを認識し協議しなければならないと思う。

オブザーバー④

- ・明宝にある福祉関係の NPO については、利用者が倍以上に増えているが、そういう会議に出られて方もあると思うが、せめて美並と白鳥で同じような組織ができるとよいという意見があったが、住民が自主的にやろうかということが重要である。
- ・自主運行バスと路線バスで 1 億 6 千万円ほどの公費を使っている。長鉄とその他の経費が約 1 億でおおよそ 2 億 7 千万円を使っている。先ほど言われたが、過密に動いている所とゼロのところがある。ということで色んな課題を真剣に考える必要があるので、しっかり取り組んでいかなければならない。

オブザーバー⑤

- ・タクシーについては、観光の町で 2 社の内 1 社がやめようと考え、もう 1 社が来年には撤退しようとしたところで、やめられなくなってしまったと言われている。観光の町でタクシーが無くなることは大変なことであるし、福祉の面からも市はどのように考えてみえるかと事業者は言われていたが、公共交通については皆さんで議論していることを伝えていきたい。タクシーについては市も関わっていただいてなんとかしてもらいたい。

尾田

- ・この会としては高齢者、弱者に対しての移動手段の確保、そのためには空白地域をなくしていくことが基本である。観光については重要であるが二の次であるのではないか。また、まめバスについては簡略化や拠点設けることで、他の路線とのネットワーク化を向上し、相互利用により利便性が上がるような方策がないか。経費については高額な費用をつぎ込んでいるので、無駄のない運行スタイルや配車を考えることができるのではないか。
- ・今度懇談会で様々要望を踏まえながら立案をしていく必要があると思うが、公費として高額な費用を使っているが、空白地域へ路線を入れれば経費が掛かるということで、市としてパンクしてしまうということなる。そうなると地域で利用促進の呼びかけや地域が受け持てる支援策なども出していくことも考えなければならない。

2. 報告事項

■城下町コンについて

事務局： 八幡地域協議会から 6 名を婚活の実行委員に選出いただき、企画・広報をエンジョイントをお願いした。

昨年度の意見を考慮し、郡上おどり開幕前の7月1日積翠園において開催。

今回は岐阜 FM の久世良輔さんにメイン MC を依頼した。

参加者は男性 36 名、女性 40 名。男性は郡上市限定。

八幡の参加者は、男性 22 名、女性 7 名。

カップル成立 16 組の内、八幡の参加者からは男性 10 名、女性 3 名。

市からは補助金として 200,000 円を得た。

■平成 29 年度 各地区の取り組みについて

事務局： 第 1 回八幡地域協議会で審議いただいた内容で交付金を請求し、各団体に交付している。

各団体とも、活動を始めていることを報告いただいている。八幡地域協議会本体としては 41 万円が支給されている。今後において先進地視察、有識者講演会開催する予定。

委員①： 交付金を活用し 10 月中に市街地でアンケート調査を実施する。

委員②： 相生地域で婚活を意識した映画祭を開催する。アベックで観賞すれば相生祭の商品券をプレゼントする。

委員③： 12 月の師走市の準備を進めている。交付金でスタッフジャンパーを検討している。

委員④： 交付金を活用し、8 月 16 日に口明方農業フェスティバルを開催。約 500 名が参加し賑わった。人口問題と地元の就職先にも関心を持ってもらうため、地元企業 4 社にも協力していただいた。来年度以降も継続したい。

委員⑤： 西和良では 12 月 10 日に地場産品を販売する感謝祭を開催する。

■視察研修について

事務局： 八幡地域協議会の視察研修は、一昨年に三重県伊賀市、昨年が滋賀県東近江市でまちづくりについて学んできた。今年度は、長野県飯田市を提案させていただく。飯田市には郡上市議会も視察研修に訪れている。飯田市ではまちづくり委員会が主体となって様々な地域活動を実践しており、八幡地域協議会の活動の参考になると思われる。飯田市役所と活動団体から話を聴けるよう調整したい。時期としては年末年始になると思うが、議会日程を考慮して調整したい。

3. その他

オブザーバー 「議員と語ろう」について、10 月 25 日 27 日に開催する。八幡では 27 日に口明方で開催する。多くの方に参加いただき、みなさんの意見を伺いたい。

事務局： 八幡地域での「市長と語ろうふれあい懇談会」を 10 月 11 日 19 時 30 分から防災センターで開催する。今年のメインテーマは観光立市郡上。多くの方にご参加いただきたい。観光立市以外でもいいので発言をしていただきたい。

八幡座嵐歌舞伎の 10 周年記念公演が開催される。地元出身の落語家、桂弥太郎や前進座の公演もある。ぜひ、ご覧いただきたい。

11 月 5 日が八幡のふるさと祭りになっている。

閉 会